

二つの「結び」「は」と「ま・な・ほ・ね」

高橋香樹

ひらがなの「結び」について考えてみます。ひらがなは、漢字をくずして、かんたんな形にしたものです。ひらがなで「結び」のある字は「は、ま、な、ほ、ね」です。活字や小学生の書写の教科書に掲載されているひらがなの「結び」は全て「よ」の形に書かれています。しかし、ひらがなの成り立ちを考えると、活字のひらがな

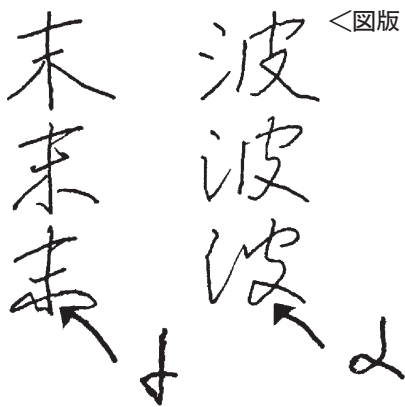
の結びは疑問に思われます。「は」は「波」から、「ま」は「末」からできた形になります。また、「ほ」は「保」、「な」は「奈」、「ね」は「衤」からできており、「結び」は「ま」と同じ形になります。

前会長の鈴木静村先生は、この「結び」の書き方について次のように指摘されています(図版1参照)。

<図版1>



<図版2>



照)。「は」三画めが大事、二画からの筆をうけて、速さをつけ左上へハネ上がり、ほ先が当たったところ(・部)で、そのまま右下へと引きます。

「ま」三画めのたて画にうつり、速さで・印に当たり、はずんで左上の▲印へ。さらには先が当たって、右よこへ引きます。ま・な・ほ・ねの結びは△直角▽に交わり、この書き方を示しているのです。この「結び」は、ひらがなでもむずかしい筆づかいのひとつです。

何回も練習して、「結び」をキリッと書けるようにしたいものです。前に書いたように活字の「結び」は一樣になっていますが、それぞれの字の成り立ちを知り、区別して書くことを学んでほしい、と考えます。今後、学生書筵掲載の本では、「結び」を書き分けていきたいと思っています。

書写の教科書では：

小学生	は	ま	な	ほ	ね
(字源)	波	末	奈	保	衤
中学生	は	ま	な	ほ	ね

※お教室では、お子さんの理解度に応じてご指導なさってください。

古典に学ぶほう

古典臨書課題

(九月二十二日締切)



校名

○○○○臨

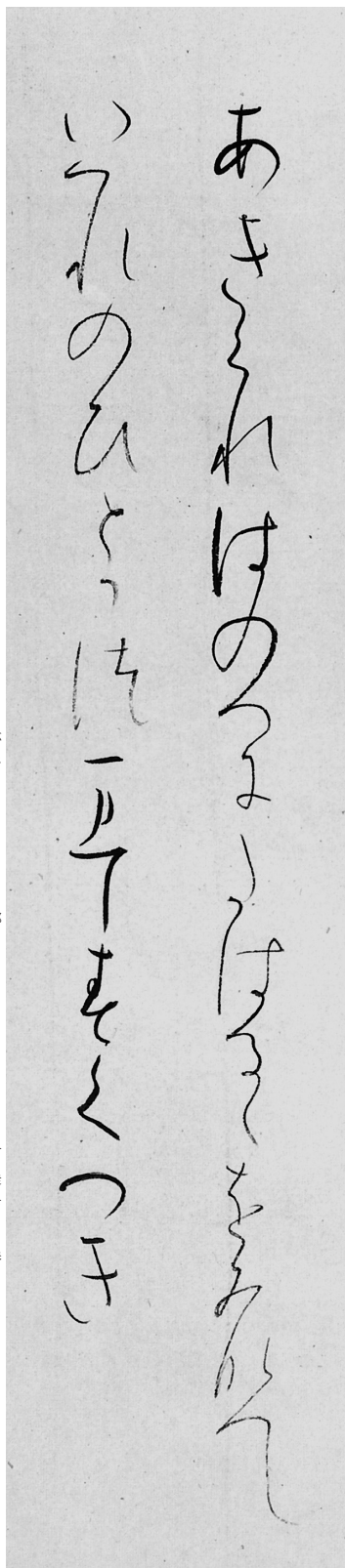
「あきくれば」 高橋香樹

《学び方》

- あ 一画目、二画目穂先より入筆。中央に押しつけてゆき、末筆で筆を引き上げ三画目に連綿。三画目筆を突き△で筆を返し、大きく曲線を描く。「き」に意連。
- き 一画目はやや右下がり。二画目に意連。すくうようにして三画目に意連。三画目意連を受け斜め右下に直線的に運筆し、四画目に意連「く」に連綿。
- く 変体仮名「久」。同じ力で運筆し、「れ」に連綿。
- れ 一画目左に張るように、二画目に連綿。一画目筆を突き左下へ。△で微妙に方向を変え、○で筆の面を変え右下に払う。
- は 一画目強い線にて左に張り二画目へ連綿。三画目左下に動き強く結ぶ。

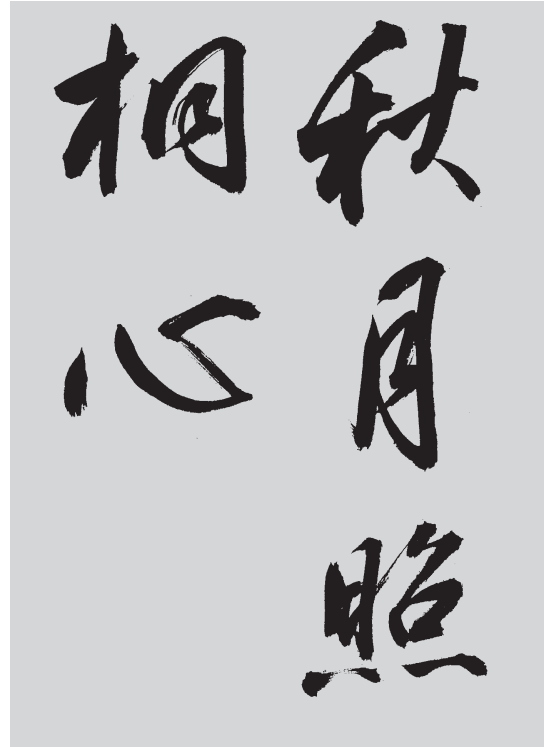
〔出品〕 高校生、中学生（一般部に編入した人も出品可）
 〔形式〕 半紙たて一行書き 〔締切〕 9月22日
 〔出品料〕 二二〇円 〔発表〕 学生書筵11月号

高野切第三種（二玄社）



あきくればのべにたはるくをみなへしいづれのひとかつまですくべき（読み人しらず）

高校漢字(行) 高塚竹堂先生書



学校名

段級

氏名

秋月桐心を照す

中学漢字(行) 高橋香樹会長書



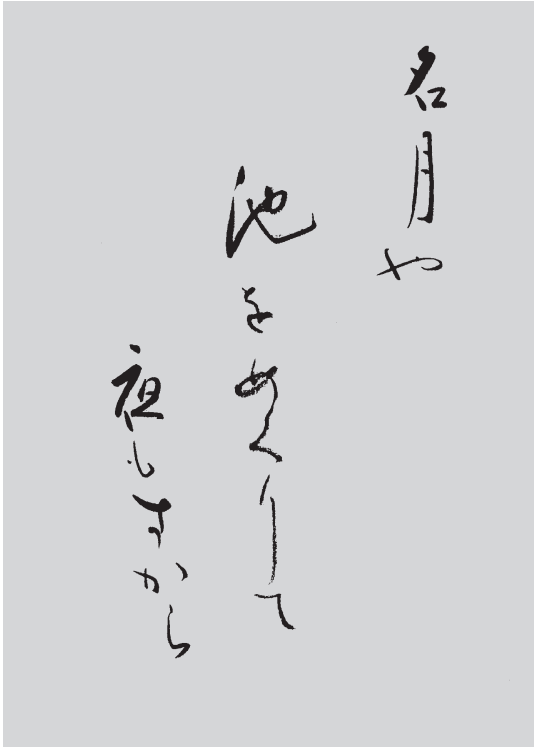
学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

高校かな 宮 絢子先生書



学校名

段級

氏名

名月や池をめぐりて夜もすがら（芭蕉）

中学かな 福田香陽先生書



学校名

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

小学五年 梅林寺爽葉先生書

学校名

段級

氏名



小学六年 梅林寺爽葉先生書

学校名

段級

氏名



小学三年 石田愁華先生書

学校名

段級

氏名



小学四年 石田愁華先生書

学校名

段級

氏名



注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

毛筆競書課題手本 (九月二十二日締切)

高橋香樹会長書

小学二年



学校名

段級

氏名

硬筆競書課題手本 (九月二十二日締切)

水貝潮華先生書

※高校・中学はペン又は万年筆、色は黒で書いてくだ

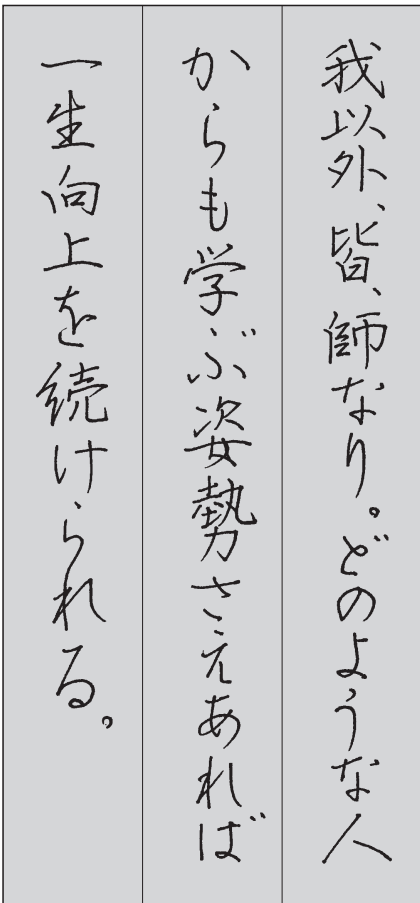
さい。(鉛筆・青インクは不可)

※小学生は鉛筆(2B〜4B)で書いて下さい。

※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。

※注意 会員外の出品料は1作品につき二四〇円。

高校・中学



筆順(行書)



(吉川英治『我以外、皆、師』)

高橋香樹会長書

小学一年



学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

